

平成18年度 同志社体験学習

九月二十七日から三十日まで十五回目となる同志社体験学習が実施されました。参加した風間浦中学校二年生は京都の歴史ある名所・旧跡に触れるため、金閣寺、奈良の大仏、清水寺などを見学し、同志社大学と同志社中学校を訪問しました。同志社中学校では、全校生徒の出迎えに対して工藤賢志君が風間浦中学校を代表して感謝の意を込めた挨拶をしました。

その後行われた交流会では、後夜祭で踊るフォークダンスとSMAPの「shake」という曲のダンス練習が行われ、輝舞祭のよさこいソーラン披露の後、後夜祭において同志社中学校生徒と一緒にフォークダンスと「shake」を踊りました。

今回は、例年の行程より同志社中学校生徒との交流に時間を多くとった事で、生徒同士の様々な触れ合いが貴重な体験となり、かけがえのない思い出になったことでしょう。

この体験学習を終えた生徒の感想文を紹介します。

同志社交流を終えて

阿部 明男

僕はこの交流の中で、色々な事を体験したり、感じたりした。

一日目、心に残った事は二つある。まず一つ目は、初めて飛行機に乗った事だ。

離陸時とその直後は、揺れたりして怖かったが、上空へ行くと空がとても青く、白い雲が下にあつてとても綺麗だった。着陸の前や着陸時も多く怖かったが、良い体験ができた。二つ目は、大徳寺大仙院での座禅体験だ。

足は痛かったが、集中していたせいか三十分の時間がとても短く感じた。その後の住職さんのお話は、少し難しかったが、良い体験になった。二日目は、同志社大学田辺キャンパスの見学に行った。

大学は想像していたものよりとても大きくて驚いた。色々な建築物があったり、夏休みで人が少ないと言っていたのに沢山の人がいて更に驚いた。見学で歩いたが疲れてしまった。その後に行った東大寺の帰りのバスで寝てしまつて、ガイドさんの話をほとんど聞けなかった。

三日目、ついに同志社中学校との交流の日となった。

最初の全校礼拝の時、建物の中に入ると千人近い人がいてとても驚いたが、合唱発表の時は大きな声で歌えたのでよかった。

後夜祭の練習で、フォークダンスと「shake」の説明を受け一緒に踊った。同志社中の人はとても明るく、楽しく教えてもらえた。

輝舞祭では、一番最初にソーラン発表があつた。少し間違えてしまつたが、精一杯踊れたので良かった。同志社中のダンスも楽しくて、あつという間に終わってしまった。

後夜祭では、同志社中の人たちと一緒にフォークダンスと「shake」を踊り、気がつく予定していた時間を過ぎていた。

この交流で沢山の事を学んだ。一つは何でも積極的に行動するということだ。

同志社中の人は僕たちに積極的に声をかけてくれたり、明るいまうどをつくってくれたり、色々な事をしてくれた。

もう一つは先生に頼りすぎず、自分や友達と協力して物事に取り組みということだ。

風中は先生の指示に従って行動することが多いが、同志社中の人は自分たちで動いていることが多かった。この二点は特に見習っていかねばならないと思う。文化祭もあるので準備や本番ではこの二点を見習って頑張りたい。

文化祭以外の今後の学校生活にも活かしていきたいと思う。

京都の歴史ある名所・旧跡を見学・体験



座禅体験



清水寺



金閣寺